

工事現場施工体制チェック表

1 工事概要

所属・氏名・確認日	所属：	氏名：	令和 年 月 日
工事名			
工事種別	・一般土木 ・維持(河川・道路) ・AS舗装 ・建築(機械・電気) ・その他()		
受注者名		請負金額	円
一次下請負業者名		一次下請負総額	円
工期	～	監理技術者等氏名	

※ 一次下請負総額・業者名については、下請契約の合計金額が 4500 万円（建築一式工事は 7000 万円）を越えない工事は聞き取りによることが出来る。

2 点検項目

目的	調査項目	確認		
ア 監理技術者等の専任制の点検	資格者証の把握	○：全ての工事が対象 □：請負代金額が 4000 万円（建築一式工事は 8000 万円）以上の工事が対象 △：下請契約の合計金額が 4500 万円（建築一式工事は 7000 万円）以上の工事が対象	携 帯・不携帯	
		△監理技術者資格証を現地で携帯しているか。	有 効・無 効	
		△資格者証の会社名、工種区分、期限は有効か。	無 ・ 有	
		△資格者証は裏書で変更事項がないか。	無 ・ 有	
	同一性の把握	△監理技術者の資格者要件に疑義はないか。又、疑義がある場合の内容(所属・資格・有効期限・その他)	内容()	
		△施工体制台帳に記載の技術者と同一人物か。	同 ・ 異	
		○請負契約に基づく届出の技術者と同一人物か。	同 ・ 異	
		□他の工事と重複していないか、工事事務管理システム・CORINS 等で確認。	いない・いる	
	常駐の把握	○監理技術者等の変更があった場合、手続は適正か。	無 ・ 有 手続(適正・不適正)	
		□現場にいるか。	いる・いない	
イ 施工体制の点検 (下請のある工事が対象)	施工体制台帳の把握	○施工体制台帳は現場に備え付けられているか。	いる・いない	
		○適正化法に基づき提出された台帳と同一か。	同 ・ 異	
		○施工体制台帳に必要事項の記入があるか。	有 ・ 無	
		○施工体制台帳に下請負契約書(写)が添付されているか。	有 ・ 無	
		○下請金額が確認できるか。	できる・できない	
	施工体系図の把握	○施工体系図は、現場の見やすい場所に掲示されているか。	掲 示・未掲示	
		○施工体系図に記載のない業者が作業していないか。	いない・いる	
	施工体制の把握(一括下請負)	○下記のいずれにも該当しないか。 ・主任技術者の専任の工事で、専任制に疑義のあるもの ・主たる部分を実施する一次下請負人が元請契約額の過半を占める工事 ・同業種の同規模以上の会社が一次下請負等に存在している工事 ・工区割りされた同時期の隣接工事に同一会社が一次下請負等に存在している工事 ・その他、一括下請に疑義があると認める工事	しない・する (該当するものは別紙2一括下請負チェック表へ)	
	ウ その他の点検	建設業許可の標識の設置	○建設業許可を受けたことを示す標識が現場の見やすい場所に設置してあるか。また、監理技術者等が正しく記載されているか。	問題なし・問題あり
		下請負人に対する通知等(下請のある工事)	○元請業者が下請負人に対し、再下請を行う場合に再下請通知を提出すべき旨の掲示があるか。	有 ・ 無
建退共に関する掲示		○建退共制度関係に関する掲示が現場の見やすい場所に設置されているか。	設 置・未設置	
労災保険に関する掲示		○労災保険関係に関する掲示が現場の見やすい場所に設置されているか。	設 置・未設置	
工事カルテの登録		□受注時・変更時の工事カルテは適正に登録されているか。(注)受注時の登録は500万円以上工事が対象	適 正・不適正	

3 所見(現場指導事項等)